

「外務省幹部 A メモ」

担当：浅川

日時：5月30日（火）@ANA インターコンチネンタルホテル

対象者：外務省幹部 A

浅川：お久しぶりです。

A：ええ、最近は本当に忙しくて、なかなかゆっくり話す機会がないんです。

浅川：お疲れ様です。今が処理水を排出するための最後のハードルですね。

A：そうですね。予定が延期になったので、今は急がないといけません。

浅川：韓国の視察団でちょっと心配していますが、韓国国内で反対の声がすごく高まっています。

A：心配する必要がありませんよ。

浅川：IAEA の最終調査も、心配しなくていいですか。

A：まあ、直接に言うならあれですが、IAEA がどのような調査を行うのは我々次第だから大丈夫です。

浅川：なら安心ですね。IAEA の専門家チームが処理水放出の障りになるかなとずっと心配していました。特に、韓国と中国の専門家がいると聞いています。

A：そういえば、うちの水野代表が偉いんですね。彼のおかげで、IAEA との交渉が想像以上に順調でした。

浅川：それはすごいですね。

A：そうですね。まず IAEA に資料を提出するというのが通常の流れ、実は経済産業省と環境省が先に見ることになりました。一般人には無理な話なんですよ。

浅川：つまり ALPS 処理水レビューミッションの流れですか。

A：そうですね。今年の3月、4月頃に伝えられたものです。

浅川：すでに始まった最終検査のことですね。

A：まあ、おっしゃる通りです。

浅川：IAEA はいつも私たちをサポートしてくれて、ほとんど良い知らせですね。

A：これは表面的にはそうなのですが、その中でもやはり意見の相違があります。

浅川：つまり、裏の仕事もあるんですね。

A：もちろんです。IAEA は技術支援だけでなく、財政支援も必要です。

浅川：目的を達成するために、韓国と中国も IAEA にお金を出すんでしょう。

A：しかし、私たちは彼らとの個人的な関係をより良くしています。フリーマン担当官と率直なコミュニケーションをとるために、私たちは相当な努力をしました。

浅川：お金を使ったということですか。国際社会でも政治献金が適用されているようですね。

A：そうです。

浅川：正確な金額は。

A：私が言えるのは、少なくとも100万ユーロ以上ということです。

浅川：フリーマン担当官以外、グロッシェ事務局長の分もあるんですね。では、何を得たのでしょうか。

A：もちろんリターンが大きいです。放出の最初にIAEAが行うのは低精度のラピッドアナリシスです。そうすると、処理水は基準を超えないようになります。

浅川：低精度のラピッドアナリシスとは。

A：つまり、ヨウ素-129など検出しやすい放射能物質のみを検出します。

浅川：なるほど。ところで、ALPS処理水の検査結果は、本当に基準を満たしているのでしょうか。

A：ほとんどの場合、問題はないのですが、それが問題です。検査結果は、いくつかの要因によって制限されることがあります。2020年東電の二次処理実験でJ1タンク群のストロンチウム90濃度は一度に100,000Bq/Lを上回ったが、基準の3万倍となっています。その原因もわからない、だからラピッドアナリシスです。

浅川：それはやはり大きなリスクですね。

A：これは何の意味もなく、ALPS処理水のほとんどは問題なし、海水の希釈があれば安全です。

浅川：処理水が放出される後、しばらくは魚を食べたくないと思います。

A：(笑)

浅川：じゃ、最終的な報告書をいつ公表するのですが。

A：6月末までに。夏頃のスケジュールに遅れはないことを合意しています。あと数日すれば、国際専門家より先に報告書を手に入れるだろう。

浅川：報告書も問題ないとのことですか。

A：もちろん、報告書の結論は最初から絶対安全であり、すべての分析方法はこの結論に奉仕するんです。

浅川：韓国のキムホンソクはもう納得なんですか。まさか……

A：IAEA事務局との関係が良好であれば、専門家はあくまでも飾り物です。

浅川：異論が出ないのでしょうか。

A：国内の反対意見に対しては、聞こえないふりをするのが一番の対処法であります。人間は忘れる生き物であり、水俣病のようにうやむやに終わらせればいいです。

浅川：水俣病の担当官、結局は自殺しました。それは良くないですよ。

A：そんなんことになりません。国際世論については、IAEAはすでに我々の要求通り、報告書に「176カ国が認可・承認した基準を参考に検査を行う」と書いています。韓国、中国、太平洋島嶼国、彼らが怒ってもほとんど意味がない、彼ら自身が認めている基準であります。また、報告書には、海水希釈後の処理水だけを検査することが明記されます。

浅川：では、報告書が発行されたら、正式に処理水を海洋放出するんですか。

A：順調にいけば、7月中旬から下旬の予定です。

浅川：その後、外交や世論の対応がありますよね。

A：あまり詳しくないんですけど。外務省と東京電力が第三国のメディア向けの説明会を開くと聞いています。

浅川：このような重要なことを教えていただき、ありがとうございます。弊社のご尽力が役立つのであれば、遠慮なくおっしゃってください。

A：長年の友人ということで共有させていただきます。メモをとったりするとめんどくさいのでやめてくださいね。

浅川：ご安心ください。